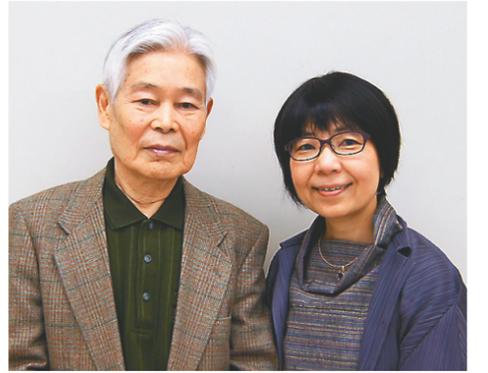


オーケストラが大好きな皆集まれ！！
～オケ一筋半世紀～

清瀬管弦楽団

団長 西村忠朗さん
団員 香西真弓さん



西村団長（左）と団員の香西さん



「清瀬管弦楽団」は、市内を中心に活動しているアマチュア・オーケストラです。

今号では、創立55周年を迎え、お客様をドキドキさせながら音楽の楽しみを追求し続ける、清瀬管弦楽団団長の西村さんと、団員の香西さんにお話を伺いました。

清瀬管弦楽団は、まだ「清瀬町」だった昭和33年に、トランペット・バイオリン・アコーディオン・ドラム・ピアノの6人で創立された歴史の長い楽団です。創立当初からの「清瀬管弦楽団」という名前には、「いつか楽器も増えて楽団らしくなる日のために」という願いが込められていたそうです。

清瀬けやきホールの定期演奏会になる程、大規模の定期演奏会を中心としながらも、サロンコンサートなどの小演奏会も行うなど、地域密着型オーケストラを目指して各種オリジナルコンサートを企画・開催しています。団員は毎週土曜日午後7時～9時30分まで竹丘地域市民センターで、お盆もクリスマスもなく練習を重ねています。メンバーの年齢層は、20代の若手から80代の団長

まで幅広く、演奏経験も初心者から音大出身者までいろいろですが、一緒に演奏することが楽しくて仕方ないという楽団です。

頭の中はオケのサウンド

西村団長はトランペットを担当しています。幼少からラッパを吹く音を聴いて育ち、「かつこいい、自分も将来吹きたい」と思っていたそうです。清瀬管弦楽団には、新聞の募集記事を見て昭和34年入団。当時の練習場は芝山小学校の音楽室だったそうです。

香西さんは入団20年目、清瀬に転入して楽団を知りました。フルートを主に、バイオリンも担当しています。二人とも音楽のことがいつも頭の隅に残っていて、ふとした瞬間にメロディーが流れるそうです。「うまくならない」「お客様に演奏を聞いて喜んでほしい」など、「頭の中はオケのこと」といって、西村団長は笑いながら話されます。

うれしさや楽しさ

「ホールを満員にするのが目標だったので、お客様が演奏会の時にくる来てくれるとうれしい」と話される団長。他に団員ならではのうれしさや楽しさはどんなことでしょうか。

半世紀を超える団の歴史

今でこそ近隣にも数多くのアマチュア・オーケストラがあります。清瀬管弦楽団のように半世紀以上活動を続けている楽団はそう多くありません。55年の歴史のなかでは、意見が分かれたり、人数

が少なくなったりした時期もあつたそうですが、なんとか乗り越えて来たそうです。

運営は団員で役割分担して行っていますが、西村団長は団員をまとめる傍ら、楽譜の管理という緑の下の力持ちの役割も果たしています。「床が抜けちゃうんじゃないかと思うくらい家のなかは楽譜だらけ（笑）。楽譜って紙だから重いんだ」と飄々と語る西村団長ですが、「任意の団体がここまで続けて来られたのは、筋を通す人がいて、地道な仕事をする人がいたから。団長はその両方をこなしていらしたのですから、これは本当に大変なことなんです」と香西さんが言葉を添えていました。



清瀬けやきホールでの「定期演奏会」。昨年はおール・ベートーベン・プロラムだった



「行われたい音楽会のためのコーナー」体験コーナー「指揮者体験」

この楽団だからできる♪ 初心者でもオケ

楽団の仲間が促されて、香西さんは長年あこがれていたバイオリンを、清瀬で初めて手にしました。



「竹丘サロンの手が届きやすい」客席と舞台の近さ

楽器の入手から演奏の手ほどきまで、仲間に見てもらい、少しずつ弾けるようになったそうです。「勝手が分かっているフルートとは違い、慣れない楽器でオケをやるときに、『この流れのこの瞬間にこの音を出す！』ということがどんなに大変か改めて気が付いた」と言います。

お客様に育てられて

清瀬の演奏会は、会場の雰囲気、お客さん、清瀬では皆さんが一生懸命聴いてくれている様子が伝わってくるそうです。「お客様からよい音を引き出してもらっている」と、感謝の気持ちを伝えるとともに、「これからも地域の皆さんに愛される楽団として、奏者達が楽しく演奏できる楽団として、今後の意気込みを話してくれました。

3本の木ととも

今年アルファベットの清瀬の「K」と「P」にこだわってきたいと思えます。というのは、東京都を代表して11月の皇居での新嘗祭に清瀬の農家が粟を栽培して献上します。清瀬の農業歴史の中で初めてこの上ない慶事、弥栄です。「あわ」にPをつければ「パワー(Power)」になります。そんなことからPへの思いが生まれてしまいました。

(Pride)を持ちたい。

年明けにそんなことを考えていたら、清瀬けやきホールの指定管理者の運営を委託している株式会社テイオの社長が年頭挨拶に来訪されて、実に嬉しい報告をしてくれました。昨年10月の「フォレスト・セレクションコンサート」というコーラスグループのコンサートに、何と北は青森県から、西は広島県と兵庫県から、更には鹿児島県からお客さんが来てくれたというのです。びっくりするともに、清瀬の存在感(プレゼンス・Presence)が高まってきていると改めて確信しました。

さて、その存在感ですが、木原誠二外務大臣政務官が清瀬について積極的に行動発言して頂いており、近々、結核研究所に外務省国際保健政策室と国際文化協力室(ユネスコ関連)のお2人が来訪

清瀬市長

渋谷 金太郎

演奏会に来てください

- ◆こどものための音楽会
日時 4月13日(日)午後2時～
場所 児童センター
◆第48回定期演奏会
日時 9月14日(日)午後5時～
場所 清瀬けやきホール
※いずれも入場無料。直接会場へ。

- ★オケが大好きな皆さん、一緒に演奏しませんか。演奏会情報、団員募集情報など詳細は清瀬管弦楽団ホームページ
http://www.ac.auone-net.jp/~kiyo58ok/ 参照。
問合せ 清瀬管弦楽団
kiyoseorc@yahoo.co.jp